

第 14 回 教育委員会会議録

令和元年 10 月 28 日

1. 開 会
2. 会議録署名委員の指名 ～ 坪谷委員、瓜委員
3. 前回会議録の承認 ～ 承認
4. 報 告 報告第 1 号 教育長報告
5. 議 案 議案第 1 号 赤平市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する点検・評価について
6. その他
7. 出席教育委員 教 育 委 員 山 本 由美子 教 育 委 員 瓜 郁 夫 教 育 委 員 坪 谷 嗣 香 教 育 委 員 高 澤 司 教 育 長 高 橋 雅 明
8. 傍聴人を除き他に議場に出席した者 学 校 教 育 課 長 大 橋 一 社 会 教 育 課 長 野 呂 道 洋 学 校 教 育 課 主 幹 斎 藤 政 弘 学 校 教 育 課 指 導 主 事 内 潟 昭 仁
9. 傍聴人 0人
会議時間：15 時 00 分～16 時 20 分

<p>教 育 長</p>	<p>開会挨拶</p> <p>会議録署名委員の指名 ～坪谷委員、瓜委員</p> <p>前回会議録 ～瓜委員、山本委員 承認</p> <p>報告第1号 教育長報告について～教育長メモに基づき報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度当初空知管内公立小中学校教職員人事について、今月、各学校にて異動予定者に対する面談を行いました。今後、10/30は空知教育局で校長・教頭、11/25は交流センターみらいにて一般教職員等の人事協議が行われる予定です。小学校では令和4年に統合が予定されていることから、学校経営に影響を及ぼすことのないように進めていきたい。1月から2月までに作業が行なわれる予定です。 ・第31回MOA美術館芦別・赤平児童作品展表彰式に出席しました。高い評価を受けた児童が表彰され、茂尻小5年に赤平市長賞・豊里小4年に赤平市教育長賞、それぞれ受賞した。 ・学習発表会について、豊里小10/5、茂尻小10/6、赤間小10/13で行われた。委員にも出席いただき感謝申し上げます。それぞれが工夫を凝らした発表会で良かった。 <p>以上報告を終わります。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>議案第1号 赤平市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する点検・評価について</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>議案第1号 赤平市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する点検・評価についてご説明いたします。</p> <p>報告書の1ページをご覧ください。</p> <p>地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により、教育委員会の事務の管理及び執行の状況につきまして、教育委員会は点検及び評価を毎年実施し、議会に報告、公表することが義務付けられたことにより行なうものであり、点検・評価を通して、今後の施策・事業の展開等に活用し、教育行政の着実な推進に努めることが法改正のねらいであることから、市教委では、法に基づく点検・評価を行ない、市民の皆様に関すること、市民の皆様に教育に関する事務の管理執行の状況について、説明責任を果たすとともに、今後の施策・事業の展開等に活用し、より一層効果的な教育行政の推進を図るために、要綱に沿って作成したところです。</p> <p>なお、法律の規定にのっとり、本教育委員会で承認を得ました後、本報告書を市議会行政常任委員会に提出するとともに、ホームページ等で公表するものであります。</p>

	<p>次に、教育委員会の活動状況等ではありますが、教育委員会委員の構成、2ページから4ページまでは開催日、付議された案件について記載しており、次に、奨学資金の貸付状況、5ページは教育費の決算状況について記載しております。</p> <p>6ページは点検・評価の目的、対象、視点、方法について記載しており、評価基準Aでは、順調がA、おおむね順調がB、見直し・改善がC、休止・廃止の検討がDで、評価基準に基づき4段階評価とし、下段の評価基準Bでは、総合評価により①から⑤までの5段階評価としております。</p> <p>7ページは点検・評価の対象とした重点施策事業一覧となっております。また、10月25日に、外部評価会議設置基準にのっとり、第三者による点検及び評価を実施することにより、教育行政に対する透明性を確保するとともに、市民への説明責任を果たすため、外部評価会議を開催いたしました。</p> <p>外部評価委員であります学識経験者の早坂喜幸氏、社会教育委員長の佐藤よう子氏、PTA連合会会長であり学校運営協議会委員でもあります兵庫常郎氏の3名から点検及び評価に関するご意見・ご助言をいただいたところです。</p> <p>8ページ以降は事務事業点検評価シートではありますが、教育委員会における教育長報告などでも、いろいろな状況についてお知らせしているところですので、事業ごとの説明は省略させていただきます。</p> <p>外部評価会議では、外部評価委員に対しあらかじめ報告書案を提示し、会議当日は各事業について担当から評価の内容について説明を行い、評価委員のご意見をいただきました。</p> <p>外部評価会議における評価の変更や文言の修正はございませんでしたが、13ページの「不登校への対応と未然防止」につきましては、「少人数の学級でも不登校の問題があると聞いている。スクールカウンセラーを活用するなどして、学校にもっとしっかりとした対応を行ってほしい。」とのご意見や、25ページの「体育、スポーツ活動」につきましては、「冬季のスポーツ大会は参加者が多いが、夏季は少ないので憂慮している。」とのご意見などをいただいたところです。</p> <p>以上、ご提案申し上げますので、よろしくご審議くださいますようお願いいたします。</p>
山本委員	<p>14P特別支援教育について、就学時前児童に対して検診はしていると思うが、就学後、療育機関にも掛からず、様々な原因で心配な児童が出てくるが、親御さんが相談できる機関等、どのような状況になっていますか。また、13Pの不登校の対応と未然防止について、4名から7名に増えた。</p>

	7名が、学校と家庭との連携が取れているのお知らせください。
学校教育課長	特別支援教育については、支援学級の担任が窓口となって、記載のある教育支援委員会を年3回程度、場合によっては増えるが、学校長・支援教室の担任・幼稚園教諭・保育所保育士・保健師・医師が参集し、本人の状況や親御さんの考え方等の情報共有をし、今後支援が必要かを協議しますので、連携しています。
山本委員	保護者の説得は難しいと思うので、学校の担当者と相談しやすい状況であれば問題ありません。分かりました。
指導主事	加えて、特別支援教育は、学校体制の中できちんとしなさい。との指導もあり、普通学級にも「困り感」のある生徒も在籍しており、指導の工夫も求められ、それに併せて指導を実施しております。 不登校の対応ですが、7名は、年間を通して全く来ない。時々来る。休んだり、出てきたりと、登校の仕方の多様な状況。今年度に入り、早期対策を講じるため10月より報告書の様式を変更しました。従来は連続欠席が強調されていましたが、早期発見に繋がりがづらいため、欠席の多い児童生徒ということで、1月の4分の1を休むと異変を感じ、週1回行われる家庭訪問、家庭環境を含めて、実体を捉えながら、不登校の解消に活用しようと思っています。現在は、何があっても学校に来なさい。ということではなく、気持ちの整理がつくことを待つ。というふうに指導が来ているので、それに添った形で進めています。よって、今年度も増えることが予想されます。
坪谷委員	特別支援の研修は希望者のみですか。
指導主事	道教委の特別支援教育校内研修プログラムがあり、授業や会議があり研修に参加できないという課題はあるが、研修が出来る状態にはなっております。
坪谷委員	困り感のある子ですが、先生に相談しても理解をしてくれない先生もいる。先生と親と認識の差が出る場合もあり、この場合、親は立ち止まって進展はしていかない。家庭で見る子供の最低限の特性は理解してもらいたいと思いますし、慎重にやって欲しいと思います。
指導主事	指導していきます。40:12
坪谷委員	10Pフッ化物洗口について、7割をきっているが親の同意が必要なのですか。
学校教育課長	必要ないと思っている親もいれば、体に害があると思っている親もいます。意思確認をしています。
坪谷委員	きちんと親に渡しているのか疑問です。美味しくないとの話を聞きます。

	美味しいのは値段が高い。中学生は多くして欲しい。
瓜 委 員	19P 公設塾について、小学生 34.4%、中学生は 19.6%の登録だが、中学生は高校で苦勞しないための基礎学力を身に付けてほしいので、登録者数が少ない原因は。
学校教育課長	滝川に通いやすく、調査はしてないが既に滝川の塾に通っている者もいると思う。
瓜 委 員	部活との関連は。
学校教育課長	部活が終了した時間帯から設定しており、部活があるから来れないと思っ ていません。7時から始めてます。少ないのは、曜日が重なっているだ とか、他の塾に通っていることが要因と思ってます。
坪 谷 委 員	帰りの時間のバスの関係ですか。
学校教育課長	終了後、30～40 分待つ事になるが、最終バスには間に合うようにしてま す。時間つぶしにギャラリーを開放し、自習が出来るようにしている。
瓜 委 員	原因を探り、登録者を増やして欲しい。
学校教育課長	中学校と連携を図り、学校だよりや再募集をしながら進めていきます。
坪 谷 委 員	1 回だけではなく、夏休み、冬休み明け、テストの結果の後とか区切りの 良い時に、何回かチラシを配って方が良いと思います。
学校教育課長	そのように進めたいと思います。
教 育 長	議案第 1 号 赤平市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状 況に関する点検・評価について 議会の常任委員会に報告し、公表することとします。 了
学校教育課長	赤平市教育研究推進協議会指定の「赤平市立茂尻小学校公開研究会」につ いてであります。11 月 8 日（金）に開催されますのでご都合がつく方 はよろしく願いいたします。
社会教育課長	私の方からは、第 12 回教育委員会以後の主な行事の報告と今後の主な行 事予定とお手元の新聞記事の情報提供をさせていただきますので、よろしく お願いします。 まず、昨日の 27 日の日曜日、総合体育館において、第 21 回市長杯争奪 ミニバレーボール大会が開催されました。昨年度は 11 チームが参加し、 開催されましたが、今回は、ほかの市などの大会参加などのため、6 チ ームの参加となりましたが、良い汗をかき、交流を深めていただいたところ であり、無事終了したところです。 次に、今後の行事についてですが、来月、11 月 9 日の第 2 土曜日、総合 体育館において、第 33 回子どもまつりが開催されますので、ご案内申し

	<p>上げます。このまつりは、11月1日の北海道教育の日 協賛事業、及び赤い羽根共同募金支援事業となっておりまして、参加対象は、市内の全ての子どもたちと各育成会、スポーツ少年団などで、また、本年度も歌志内市の育成会から参加をいただいております。子どもまつりは、まつり会場全体を「独立国」とし、育成会や団体が出店する各店は「村」として、それぞれ国名、村名が付けられます。事業運営に当たって、10月3日に第1回国会を開催いたしまして、国名及び貨幣単位は、それぞれ昨年同様「なかよし共和国」、「グリ」と決定し、大統領には、茂尻小学校6年生の <small>やまぐちななみ</small> 山口菜々美さんが選出されたところです。子どもまつり運営参加児童数は、歌志内市育成連を除き37名の予定となっており、地元3村のほか、本年度は、歌志内市育成連から、1村の参加申込、その他に、社会教育委員の会から1村の参加があり、合計5村の出店となります。この祭典は、青少年健全育成事業の中で、最も参加者が多い事業でありまして、昨年の参加・来場者は、子ども237名、大人154名、計391名の参加をいただいております。たくさん子どもたちが集い、頑張り、仲良く楽しんでる姿を、是非とも、ご覧いただければ、幸いに存じます。</p> <p>最後に、10月22日、北海道新聞朝刊に掲載されました、「赤平の立て坑映画に登場」について、情報提供させていただきます。記事にありますとおり、昨年4月に、秘密基地のイメージづくりのため、立坑を製作スタッフが訪ねられ、12月13日から、アニメ映画「ぼくらの7日間戦争」として、全国各地で上映されることとなっております。市としましても、これを契機に、炭鉱遺産ガイダンス施設を訪ねてくれる映画ファンなどが増え、入館者増などに繋がることを期待しているところでございます。私からのほうからは、以上でございます。</p>
指 導 主 事	<p>カラー版の資料をご覧ください。昨年は12月でしたが、校長会、教頭会の協力の下、全国学力・学習調査と標準学力検査（NRT）の結果を11月号の広報とともにモノクロ版ですが配布します。1PはNRTの部分で、昨年度の点数と今年度の点数で比較ができます。学年によっては、苦手な学年もあり、伸び悩みもありますが、授業のやり方も良くなっている気配も感じ、右方上がりの部分もあります。小学校は3校併せた数字を記載しています。2P～3Pが全国学力・学習調査です。全国平均までは届いておりませんが、期待をしております。学力を支える学習状況ですが、理想の形に近づいているのが読み取れます。4Pの太枠で、各学校教ではないが、各学校で取り組んでいる代表的なものを掲載しています。教育委員会の支援策についても開催いたしました。</p>

教 育 長	引続き、いじめの案件について報告いたします。
指 導 主 事	<p>豊里小の5年生です。言葉の暴力によるいじめです。普通学級6名で、2名(男・女)がおとなしく、そのうちの女子が、数名から言葉の暴力を受けています。言葉の暴力による恐怖心から1学期から不登校となった。解決に方向に向いたが、2学期も変わらず、学習発表会にも出る事ができなかった。学校でも非常事態と認識し、9月からは毎週のように会議を開き、話し合いをしている。</p> <p>なかなか家庭、児童には伝えることができず、エスカレートしたため、参観日とは別に「授業の様子を見る」ということで、保護者が参観することとした。先週、更に保護者懇談会を行い、保護者も理解をされ、しっかりと児童に指導がなされたようです。現在も保護者の参観は行われ、見守っています。校長、教頭も授業を見守りながら支援してきたが、進行してしまっことは反省点である。</p> <p>「いじめ」で処理をする方向で学校は動いており、一刻も早く全員が登校できるよう市教委も協力していきたい。当事者は、放課後保健室登校しています。以上報告です。 了</p>
教 育 長	全体を通じて何かありますか。
山 本 委 員	出席停止の件についてお聞きしたい。
学校教育課主幹	出席停止期間は終了し、その後は登校したり、休んだりという状況です。特に問題があるとは聞いていません。
学校教育課長	次回の教育委員会を、令和元年11月29日(金)午後3時より開催したいと考えております。
署名委員	
署名委員	
書 記 学校教育課 総務・学校教育担当主幹	